

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		公共施設等マネジメント事業費[標識、看板の台帳管理事業]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	10	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント 課			公共施設等マネジメント 係			課長名	遠藤和夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	123		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	標識、看板等を設置、管理している課			標識、看板等を設置、管理している課の数：課					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
標識、看板等を定期的に確認している。			1年間で1回以上、標識、看板等の現況確認をしている課の割合：%						
→									
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
標識、看板等の適正な管理に関する調査			標識、看板等の適正な管理に関する調査の実施回数：回						
→									
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	施設	20	19	19			
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0			
	目 標	②の目標値	%	100.0	100	100			
		目標値設定の考え方 標識、看板等を設置、管理しているすべての所管課において、1年に1回は現況確認を行っている。							
活動指標	③の数値	回	1	1	1				
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	0	0	0			
		特定財源	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.01	0.01			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	412,650	82,440	83,100			
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	412,650	82,440	83,100				
4 環境変化等	(1) 開始年度		26 年度						
	(2) 環境の変化								
①設置、管理されている標識や看板等の情報が、管理台帳を整え更新されることによって集約されている。 ②標識や看板等について、不明瞭なものや劣化したものは、所管課が現況確認を行うことにより、適切に管理されている。 ③標識や看板等の破損を発見した職員は、所管課にその旨の連絡をするよう、意識醸成を図っている。									

事業名称	公共施設等マネジメント事業費[標識、看板の台帳管理事業]			
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント	課	公共施設等マネジメント	係 課長名 遠藤和夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	適正な管理がされるよう、調査回数は引き続き1回とする。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	前年度と同様に、平成31年度は1回の調査を行った。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	今後も標識・看板が安全な状態で保たれ、適正な維持管理が継続できるよう、年度ごとに調査を継続する。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
9 今後の方向性	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
9 今後の方向性	【取組内容】			
	①標識、看板等の管理台帳については、調査を踏まえて台帳を更新した後、庁内で情報共有する。 ②現年度において、1回以上の確認を徹底するため、現況確認依頼を、年度末の1月に行い、3月末までに現地確認を実施するよう努める。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①標識、看板等の管理台帳については、調査に基づき更新後、グループウェアの共有情報に掲載する。 ②令和2年度の現況確認に関する、標識、看板等の確認依頼を、令和3年1月に通知することを予定したい。			